

令和4年度働き方改革校内推進者養成研修

「教職員の働き方改革挑戦校」

県教育委員会では平成30年度に「教職員の働き方改革プラン」を定め、長時間勤務の是正、ワーク・ライフ・バランスの適正化に取り組んでいるところです。

今年度、学校の働き方改革をさらに加速させるために、県内から「働き方改革挑戦校」を募集し、先生の幸せ研究所所長 澤田 真由美 先生の支援・助言を受けながら、校内の働き方改革の推進を図るとともに、働き方改革において地域の中核となるリーダー教職員の育成をめざす研修に取り組んでいます。挑戦校は、小学校5校、中学校5校、県立高校4校、特別支援学校1校の計15校です。第1回研修を迎える前にオンラインでの座談会を行い、参加者同士で働き方改革について順調に進んでいることや困っていることなどを中心に情報交流を行いました。

全5回の研修の概要を以下にお伝えします。

【第1回研修】9月13日（火） 島根県教育センター

☆研修の概要

《前半：講義・演習など》10:00～12:00

1. 澤田代表の自己紹介、事業紹介
2. 働き方改革の目的やアプローチの仕方
3. 各学校の取組紹介等

《後半：協議・ワークショップなど》13:00～17:00

4. 役立つ思考法「クリティカルシンキング」
5. ワークショップ「時間予算ワークショップ」
6. 実現シートの作成・共有
7. まとめ

(松江一中：勝部主任作成の研修メモ)

The image shows handwritten notes from a workshop. The notes are organized into several sections with diagrams and text:

- Top Left:** "令和4年度 教職員の働き方改革挑戦校 第1回研修" (2022.09.13). Includes a drawing of a woman and text about "プロジェクト型業務改善" (Project-type Business Improvement) and "働き方改革は学校の課題" (Work style reform is a school's challenge).
- Top Middle:** "【各学校の取組秘伝】" (Secrets of each school's efforts). Includes a diagram showing "校長" (Principal) and "教職員" (Teachers) and text about "学校だより" (School newsletter) and "学校だより" (School newsletter).
- Top Right:** "「やてよめた改革」" (Yateyometa Reform). Includes a tree diagram and text about "事例集" (Case collection) and "部活動改革" (Extracurricular activity reform).
- Middle Left:** "変化の源" (Source of change). Includes a diagram showing "変化の源" (Source of change) and "変化の源" (Source of change).
- Middle Middle:** "働き方改革とは何ぞや?!" (What is work style reform?!). Includes text about "校長(リーダー)の推進役(担当)は どう 任せる?!" (How to assign the role of the principal (leader) as a driving force (responsibility)?!).
- Middle Right:** "クリティカルシンキング!" (Critical Thinking!). Includes text about "クリティカルシンキング!" (Critical Thinking!) and "クリティカルシンキング!" (Critical Thinking!).
- Bottom Left:** "仕事 = 価値 + 時間" (Work = Value + Time). Includes text about "仕事 = 価値 + 時間" (Work = Value + Time) and "仕事 = 価値 + 時間" (Work = Value + Time).
- Bottom Middle:** "時間をつくらばいい" (It's good to create time). Includes text about "時間をつくらばいい" (It's good to create time) and "時間をつくらばいい" (It's good to create time).
- Bottom Right:** "時間予算ワークショップ" (Time Budget Workshop). Includes text about "時間予算ワークショップ" (Time Budget Workshop) and "時間予算ワークショップ" (Time Budget Workshop).

☆研修の様子



☆参加者の感想

働き方改革をするためには、全校で対話することが大切だと改めて感じた。目的意識を共有して、ざっくばらんに話をして、1つでも「やってよかった」と思えることを実現していきたい。

いずれの学校種・学校でも教員の働き方はまだ解決されていない課題であり、学校の実状によってアプローチは様々であると感じた。また、改革の余地や見通し可能な部分がまだまだあると再認識した。

他の学校の困りごとやそれに対する改善方法など、自分の視点とは違う考え方に触れて、刺激とやる気をいただきました。

研修を通して校内担当者とビジョンを共有しながらじっくりと話し合いができてよかった。そのビジョンや手段について、グループでの交流や澤田先生のお話を通じて、深めたり実現性の高いものにしたることができることができてよかった。

推進リーダーとして、プランをもって行動することの大切さを学ぶことができました。自分自身の幸せとみんなの幸せのために「まずやってみよう」のスタンスでやっていきたいと思います。

とにかくやってみる。タイミングを見計らっている間に時は進む。
レッツ・チャレンジ！

プロジェクトをスタートしたところで、次どのようにもっていくか悩んでいたが、ワークショップのヒントをいただいたので、進めていけそう。

働き方改革が一校のみに留まらず、一校の職員の転勤や本日のような研修、そして、挑戦校の取組を通して全県に広がっていき、島根が働き方改革先進県になり、教師を志す若い人材が一人でも増えていってほしいです。

澤田所長がとても元気で、気持ちよく研修ができました。本校の一步が動き出すプランができました。

高校班：地域との連携について

地域と連携を図るのは何のため？



【第3回研修】11月9日（水） オンライン研修

☆研修の概要

《前半：情報共有・個別相談》10:00～12:30

1. 前回の振り返り
2. 自校の取組の振り返り
→ 校種別で共有
3. 今後の計画立案（アクションシート）
→ 案をもとに個別相談（各校30分程度）

※個別相談の裏で情報共有

《後半：個別相談・事例紹介など》13:30～16:00

4. 個別相談の続き
※個別相談の裏で情報共有
5. 事例紹介（保護者連携など）
6. 本日の振り返り
7. まとめ（トリセツシートやモチベーショングラフなど）
8. 事務連絡（報告会の作成資料について）

☆アクションシートの一部

アクションシート		アクションシート	
<p>①必要なこと・試したいこと・手放すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学部・分掌の業務改善案や工夫しているの事の集約 ・各個人の働き方の工夫やこつ集約 	<p>②具体的にアクションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される困難と乗り越え方 ・アクションする日(いつ・いつまでに) ・11月18日までに提出→集約→この扱いについて今検討中 ・11月11日までに提出→集約→集約したものを「はまよう働き方のこつ 100」を作成 	<p>①必要なこと・試したいこと・手放すこと</p> <p>全職員対象のワークショップ</p> <p>↓</p> <p>職員会の1コマをもらう。</p>	<p>②具体的なアクション</p> <p>11月21日に全職員対象ワークショップ</p> <p>↓</p> <p>働き方改革に向けてのワーキングメンバーを増やす。(即日アンケート)</p> <p>現在8人→16人くらいに</p> <p>その後、メンバーをプロジェクトに分ける。(時間割プロジェクト、清掃プロジェクトなど)</p> <p>12月中にどこかのプロジェクトでアクションを</p>
<p>③キーになる人や仲間に入れたい人(管理職、○○先生、保護者、分掌など)への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトメンバー、各主任 	<p>④管理職/推進者に伝えたいこと・頼みたいこと・協力してほしいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちだけで盛り上がりがない。 ・協力者を巻き込む意識 ・このプロジェクトで無理しない。 	<p>③キーになる人や仲間に入れたい人(管理職、○○先生、保護者、分掌など)への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て真っ最中のパパ・ママ先生 ・初任者2名 	<p>④管理職/推進者に伝えたいこと・頼みたいこと・協力してほしいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールの確認や見直しを持つこと。
アクションシート		アクションシート	
<p>①必要なこと・試したいこと・手放すこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Googleチャットの活用 ・マチコミの活用 ・行事の見直し ・共有のPC内のフォルダの整理 ・学期末の事務処理のための時間の確保 ・働き方改革推進委員会を定期的に行う ・ノーマル残業の提案 	<p>②具体的にアクションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Googleチャットの活用の研修を行う。(他校でGoogleチャットを活用してしるPCに堪能な事務職員に来てもらう予定) 	<p>①必要なこと・試したいこと・手放すこと</p> <p>ここに記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の朝礼での端末利用 生徒のICT端末利用の毎朝の習慣化 ①朝礼伝達の簡素化→朝礼時間の短縮 ②健康観察の簡素化→朝礼後の時間の生み出し ③学習時間調査の簡素化→季節ごとの集計 	<p>②具体的にアクションについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想される困難と乗り越え方 ・アクションする日(いつ・いつまでに) ここに記入 ・11月末くらいを目指し、入力フォームの作成、試し、 ・12月もしくは3学期には生徒たちが毎日確認、入力等ができています。
<p>③キーになる人や仲間に入れたい人(管理職、○○先生、保護者、分掌など)への働きかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理職 ・事務職員 ・低・中・高学年それぞれの先生 	<p>④管理職/推進者に伝えたいこと・頼みたいこと・協力してほしいこと</p> <p>気になることがあれば、小さなことでも声をあげてもらいたい(Googleチャットなど気軽に提案できるところを作る)</p>	<p>③キーになる人や仲間に入れたい人(管理職、○○先生、保護者、分掌など)への働きかけ</p> <p>ここに記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT担当、MIT ・1年学年会 ・保健主任、養護教諭 ・ICT支援員? 	<p>④管理職/推進者に伝えたいこと・頼みたいこと・協力してほしいこと</p> <p>ここに記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年学年主任に負担がかかりすぎている。(ICT担当でもあるので) ・先生たちが疲弊しないように進めていきたいが、

【第4回研修】12月7日（水） オンライン研修

☆研修の概要

《前半：報告会の資料作成とブラッシュアップ》10:00～12:30

1. アイスブレイク
2. 報告会の概要及びフォーマットの説明
3. 資料作成（個人作業）
4. ペアでのブラッシュアップタイム

《後半：個別相談・個人作業等》13:30～16:00

5. 個別相談
※個別相談の裏で個人作業及び発表練習
6. まとめ（報告会に向けて）
7. 本日の振り返り

☆推進者の感想

さまざまな取り組みを聞かせていただき参考になりました。視点を教えてもらいました。やっぱり、対話が大事ですね。

発表の練習を見せていただいて、とても参考になりました。発表のイメージがわきました。ありがとうございました。

この研修に出るたびに意欲が高まります。

単に勤務時間を減らすためではなく、より高い目標に向けての働き方改革でなければならぬと再認識しました。

あっという間に今日の時間が経ちました。発表用の資料を作成しながら、今までの取組をふり返ることが出来ました。最後の研修の際のイメージがもてました。各学校の取組を紹介してもらい、活力をもらいました。ありがとうございました。

他校の取組も参考にしながら、報告会までに話したいことを整理しておきたいと思っています。

発表のブラッシュアップができました。ありがとうございました。また、他校の取組も知ることができて大変参考になりました。

メインメッセージがしっかり伝わるように、対話を大切にしながら準備を進めていきたいと思いました！

他の学校の具体的な取組を様々知ることができ、参考になりました！ありがとうございました。

行った活動がメインに挙げた目標に近づけたか、というところが大切だと思いました。

個別相談で、率直な悩みを聞いていただき、ありがとうございました。参考になりました。

【第5回研修】1月18日（水） オンライン研修

☆研修の概要

《発表者による練習とブラッシュアップ》10:00～12:10

1. 進捗共有・情報交換
2. 発表練習・ブラッシュアップ
3. 報告会に向けた最終確認

《実践報告会》13:10～15:35

4. 第1部（全体発表会）
小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の代表1校ずつが発表
5. 第2部（校種別分科会）
校種に分かれ、代表校以外の学校が発表（質疑応答あり）
6. 第3部（全体会）
澤田代表による講評

《研修の振り返りとまとめ》15:35～16:00

7. 研修の振り返り
8. まとめ
9. 記念撮影

☆研修の様子

この報告会には、県内の公立学校、市町村教育委員会、教育関係者だけでなく、県外の教育委員会や教育関係機関からも応募がありました。そして、全部で100を超える機関から100名以上という多数のご参加をいただき、盛会のうちに終えることができました。

各挑戦校の働き方改革の視点やアイディアは、すぐに実践できるものが多くありました。ここから、さらに島根県の学校における働き方改革を前進させ、より豊かな教育活動が展開できるよう、県教育委員会としても引き続き力を入れて取り組んでいきます。

☆参加者の感想（一部）

対話やコミュニケーションなど、短時間でも時間を確保して参加型の取組を各校が工夫しておられることがよくわかりました。先生や職員のみなさんが取り組みやすいように、校長先生がビジョンを持ちリーダーシップを示している姿がうかがえました。元気をいただきました。ありがとうございました。

働き方改革は、「面倒くさい」「やりたくないからこれをやめよう」ではなく、あくまでも先生方の心のゆとりを作り、多忙感を減らすことによって、教育活動の質を高めるために行うものだということを再確認できました。たくさんの有益な提案ありがとうございました。

「働き方改革があるから・・・」ではなく、やはり普段から会話やコミュニケーションができる職場環境があれば、互いに意見や思いを共有しやすいのだと思います。今日発表をされたどの学校もコミュニケーションを大切にされているなと感じました。

「対話をする事」＝「一人一人の思いやりがいを大切にすること」＝「その人を大切にしている」ということなのかなと感じました。時間や仕事量だけの問題ではないですね。

さまざまな考え方を認めながら、少しずつ当事者意識を醸成することが大切なんだと思いました。

どの発表も参考になりましたが、具体的に何がというよりも、私も腐らずやってみようという意欲につながりました。ありがとうございました。

「スクラップ&ビルド」の考え方、とても大切ですね！報告物等「ビルド&ビルド」の現状の中、学校でできる「スクラップ&ビルド」で心の余裕を生み出し、改善して、働き方改革に繋げていきたいと思いました。

みなさん、ありがとうございました。動くこと、変わるためには、まずみんなが課題を自分事に捉えることですね。

みなさんの発表を聞いて、自分たちでできることを探してみます。まずは、「やってみる」ことが大切ですね。

挑戦！という言葉はそそられますね。指名されたことに気概を感じて取り組まれている先生方の姿、勇気をいただきました。

自分事にするために、職員のみなさんから声を集めることが大事だと感じました。参考になる実践が多かったです。

フットワークの軽さ、やってみようという雰囲気大切ですよ。子どもたちにもチャレンジすることを求めているので、我々もチャレンジしていきたいと思いました。

働き方改革の取組は、学校の魅力化への取組でもあり、教員という仕事の魅力化につながると思いました。

一人一人の生き方改革としての捉えは素晴らしいと思いました。気づきや工夫を大切に、一歩ずつ進めていく姿勢がいいと思います。

教員は子供たちのことを最優先で考えてしまいます。大切なことですが、自分の時間を大切にするために働き方を改革するこ

教職員がよりよい働き方ができるようになり、それぞれが持っている本来の力を発揮できるようになることが、ストレートに子どもたちのプラスになると信じています。

さまざまな取組を知る貴重な時間になりました。自分事として考えることは、すべてにつながると思いました。できることから、できそうなことからやっていきたいと思えます。

働き方改革を推進していく立場でありながら、教職員の声を聴く機会をあまり設けていなかったと反省しました。小グループでの話し合いの場を設けること、プロジェクトチームを考えるなど、できることから始めたいです。

こうしてたくさんの方の意見を聞かせてもらうと、具体的なものが学べて良いですね。発表されたみなさん、ありがとうございました。

何かを進めるにあたり、一緒に相談できる仲間がいることが重要ですね。推進委員とかプロジェクトメンバーとか体制作りも大事ですね。

忙しいからこそ、変えていくために考えることが大切なのだと思います。業務の削減ではなく、精選が大事ですね。

どうせ・・・という発想になりやすいのですが、そこに視点を当て、バイアスと取り除く考え方は大切だと思います。

バイアスが軽減すれば、変えていこうとする意識が高まりますね。やはり、やってみることが、大事ですね。

「できるかどうかわからないけど、やってみよう。結果が出たらラッキー！」みたいな気持ちで取り組めるといいのかもしれないと思いました。

☆推進者の感想（一部）

全体会の発表も含めて、「対話」が共通点でした。生徒同士の対話を促す立場の私たちが、教職員という仲間の対話を大切にしていくべきだと再認識しました。あと、リーダーとしては、その仕掛けづくりを心掛けます。

挑戦校として取り組ませていただき、多くの気づきと学びがありました。今回の研修は、研修の中で思考する時間が確保されていたことが大きかったです。具体的に何をどのように進めるかをこの研修の時間に考える時間をもらった気がします。自助、共助、公助、それぞれの学校の工夫でできること、市教委や県教委のレベルでできること、それぞれができることを前向きに進めていくことが必要だと感じました。

どの学校も「対話」をキーワードに取り組んでおられ、対話から生まれたアイデアを実行に移していく方法を聞くことができよかったです。あとは、自走していくための仕組みづくりです。〇〇中さんの校務分掌に入れるというアイデアを本校でも取り入れたいです。

「やりたいこと」が軸にある方がいい。「やりたくないこと」に文句を言いながら仕事をするのではなく、「やりたいこと」のためにそうではないことの業務を見つめ直し、改善、時短していくことを考え、実践する。そのスタンスに職員一同が向けるようになると、楽しいと思います。

